

泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト

有効性評価 7.2.1.1 雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧破損）

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
1	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損（SAE721P r.8.0）	資料全般	・燃料タンク（SA）の追加	
2	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損（SAE721P-9 r.7.0）	資料全般	同上	
3	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損（SAE721P r.8.0）	7.2.1.1-1	以下の下線部の通り記載を修正しました。 （旧） 非凝縮性ガス等の蓄積によって、緩和措置がとられない場合には、原子炉格納容器内の雰囲気圧力が徐々に上昇し、 （新） 非凝縮性ガス等の蓄積によって、原子炉格納容器内の雰囲気圧力が徐々に上昇し、	
4	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損（SAE721P r.8.0）	7.2.1.1-2	以下の記載を追加しました。 「また、溶融炉心・コンクリート相互作用によるコンクリート侵食及びこれに伴う非凝縮性ガスの発生を抑制するため、代替格納容器スプレイポンプによって原子炉下部キャビティへ注水し原子炉下部キャビティに落下した溶融炉心を冷却することにより、原子炉格納容器の破損を防止する。さらに、原子炉格納容器内水素処理装置によって継続的に発生する水素を処理、低減させるとともに最終的な熱の逃がし場へ熱の輸送を行うことにより原子炉格納容器雰囲気除熱を行う。」	
5	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損（SAE721P-9 r.7.0）	2	同上	
6	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損（SAE721P r.8.0）	7.2.1.1-3, 36	必要な要員の評価に示している要員数を16名→20名、33名→35名に変更しました。（燃料補給のための要員を参集要員から常駐要員に変更、災害対策要員（支援）による対応を追加）	
7	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損（SAE721P-9 r.7.0）	4, 51	同上	
8	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損（SAE721P r.8.0）	7.2.1.1-3, 36	事象発生3時間までの記載及び参集要員に関する記載を削除しました。	
9	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損（SAE721P-9 r.7.0）	4, 51	同上	
10	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損（SAE721P-9 r.7.0）	4	要員数の相違に関して相違理由を追記しました。	
11	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損（SAE721P r.8.0）	7.2.1.1-5, 6, 41	以下の通り記載を修正しました。（下線部参照） （旧）安全注入動作を伴う （新）非常用炉心冷却設備作動信号の発信を伴う	
12	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損（SAE721P-9 r.7.0）	とりまとめた資料-3 7, 60	同上	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
13	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)	7.2.1.1-18	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 原子炉格納容器の最高使用圧力の2倍(0.566MPa[gage])を超えない。 (新) 原子炉格納容器の限界圧力0.566MPa[gage]を超えない。	
14	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.7.0)	23	同上	
15	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)	7.2.1.1-18	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 原子炉格納容器バウンダリにかかる温度の最高値は200℃ (新) 原子炉格納容器バウンダリにかかる温度の最高値は、 <u>原子炉格納容器の限界温度200℃</u>	
16	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.7.0)	24	同上	
17	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)	7.2.1.1-19, 26, 34	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 原子炉格納容器の最高使用圧力の2倍(0.566MPa[gage])及び200℃を下回る。 (新) 原子炉格納容器の限界圧力0.566MPa[gage]及び限界温度200℃を下回る。	
18	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.7.0)	27, 38, 48	同上	
19	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)	7.2.1.1-37 添7.2.1.1.24-2	燃料評価の記載を見直しました。	
20	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.7.0)	53, 54 添7.2.1.1.24-2	同上	
21	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)	7.2.1.1-38, 39	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 格納容器再循環ユニット (新) <u>C, D</u> -格納容器再循環ユニット	
22	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.7.0)	56, 57	同上	
23	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)	7.2.1.1-42, 43	「k. 水素濃度監視」及び「1. 1次冷却系強制減圧」のうち加圧器逃がし弁操作用可搬型窒素ガスポンプを用いる操作について、有効性評価上考慮する操作としてグレーハッチングを取りました。	
24	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.7.0)	61, 62	同上	
25	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)	7.2.1.1-43	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) B-充てんポンプ <u>(自己冷却)</u> (新) B-充てんポンプ	
26	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.7.0)	62	同上	
27	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)	7.2.1.1-49	フロー図の記載を以下の通り修正しました。 (旧) 安全注入動作を伴う (新) 非常用炉心冷却設備作動信号の発信を伴う	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
28	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.7.0)	68	同上	
29	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)	7.2.1.1-50, 51	タイムチャートを以下の通り修正しました。 ・使用済燃料ピットへの注水確保(海水)の要員を「災害対策要員3名」から「災害対策要員3名+災害対策要員(支援)2名」に変更しました。 ・燃料補給の要員を「参集要員」から常駐要員である「災害対策要員」としました。 ・可搬型格納容器内及びアニュラス水素濃度計は、有効性評価上考慮するため、グレーハッチングを取りました。 ・災害対策要員の作業項目の見直し	
30	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.7.0)	69, 70	同上	
31	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)	7.2.1.1-54	フロー図を以下の通り修正しました。 ・他に取り得る手段に記載の「3号非常用受電設備」を設備変更により「後備変圧器」に修正しました。 ・可搬型格納容器内及びアニュラス水素濃度計は、有効性評価上考慮するため、該当箇所を破線から実線としました。 ・「回復」の表現を適正化しました。	
32	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.7.0)	73	同上	
33	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.7.0)	添7.2.1.1.10-3	以下の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧) 思われが、 (新) 思われるが、	
34	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)	添7.2.1.1.13-6	以下の下線部の通り記載を修正いたしました。 (旧) (2) 溶融燃料の冷却及び原子炉格納容器の状況 (新) (2) 溶融炉心の冷却及び原子炉格納容器の状況	
35	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)	添7.2.1.1.13-6	以下の下線部の通り記載を修正いたしました。 (旧) 炉心部或いは下部プレナムにおける溶融炉心と冷却材との接触により (新) 炉心部或いは下部プレナムにおける溶融燃料と冷却材との接触により	
36	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)	添7.2.1.1.20-1	以下の下線部の通り記載を修正いたしました。 (旧) 評価項目となるパラメータに影響は小さいことを確認した (新) 評価項目となるパラメータに与える影響は小さいことを確認した	